

一般財団法人日本科学技術連盟

第35年度(2019年度)ソフトウェア品質管理研究会 成果発表会

研究コース2 ソフトウェアレビュー レトロチーム

2020年2月21日(金)



レビュー記録票を活用した レビュー振り返りの提案



研究員

： ★澁谷 将行 (株式会社トーセイシステムズ)

： 福田 秀樹 (TIS株式会社)

： 山田 健右 (ジブラルタ生命保険株式会社)

主査

： 中谷 一樹 (TIS株式会社)

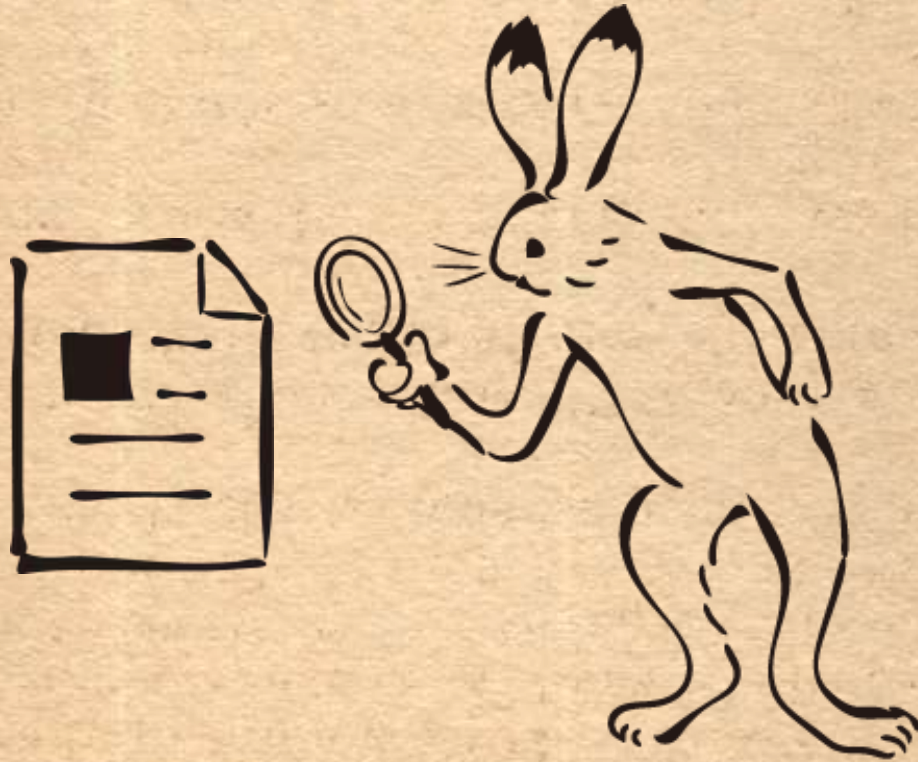
副主査

： 上田 裕之 (株式会社DTSインサイト)

アドバイザー

： 安達 賢二 (株式会社HBA)

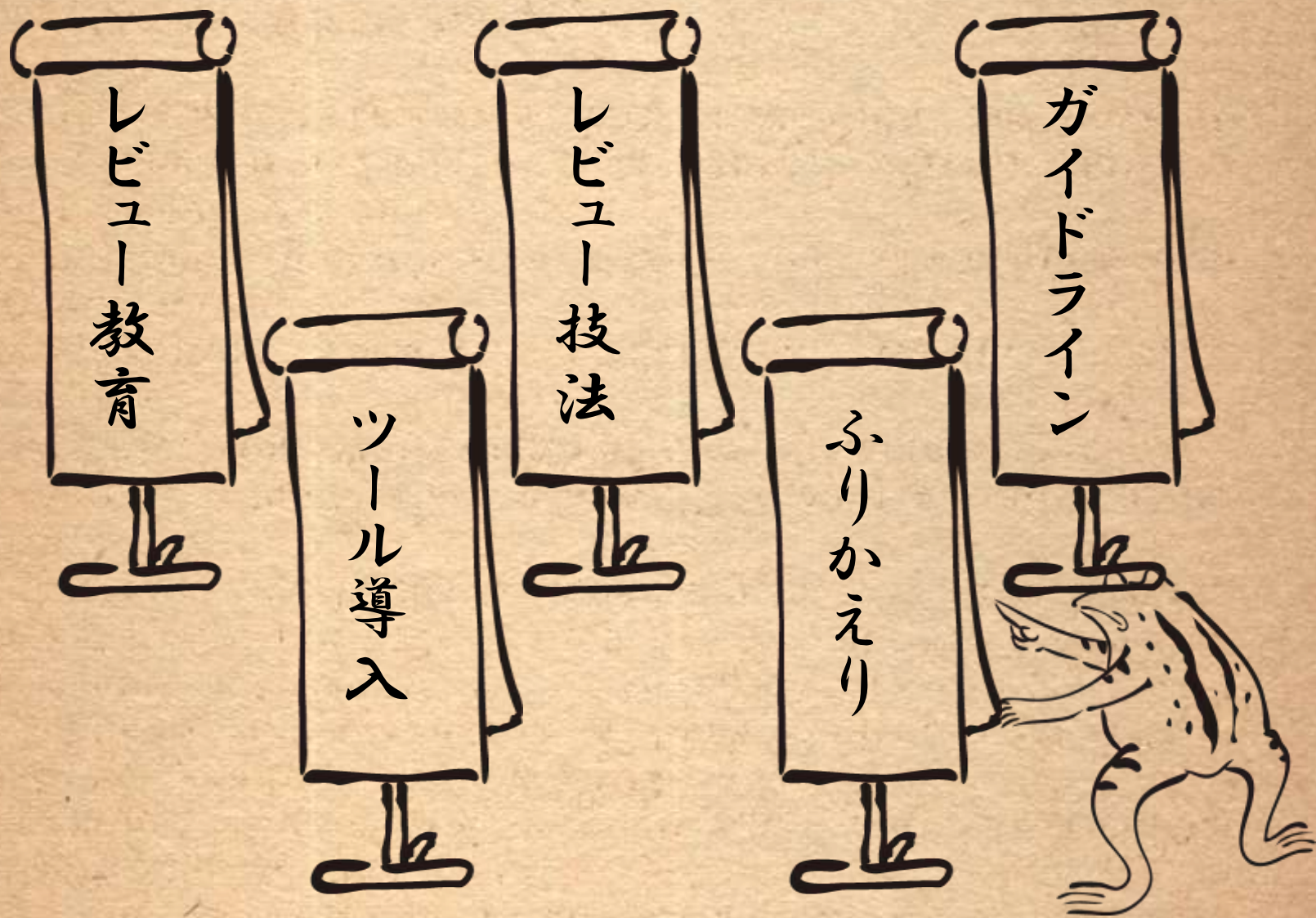
レビューをしていますか？



レビューの質を
良くする活動をしていますか？



質を良くする活動



なぜ振り返り??

自分達の環境に合わせて、
一步一步前向きに改善を進めていける



振り返りを うまく活用できている??

積極的に振り返りをしないのはなぜ?

振り返りをしても改善につながらないのはなぜ?



振り返りの敵



記憶喪失

- 思い出せない
- 思い出してもぼんやりしてる



自己中心

- 自分の役割・立場から考えてしまう
- でも自分自身を分析するのは難しい



ダメ出し

- ダメなところに意識が向く
- 意気消沈、視野狭窄、思考停止



ワンマンショー

- 声が**大きい**人が話してばかり
- 声が**大きい**人の意見が採用



敵を成敗できたら??

- 記憶喪失
 - 記録したものがあれば?
- 自己中心
 - 他人を気にできれば?
- ダメ出し
 - 良いところを見れば?
- ワンマンショー
 - 全員意見を出せれば?



R3法

レビュー記録票を活用したレビュー振り返り手法
(Retrospective method for review improvement
using **Review Record** form)



point

レビュー後に

事実に基づいて

参加者全員が

お互いに自分と相手の

良いところも含めて

振り返る

R3法のエッセンス

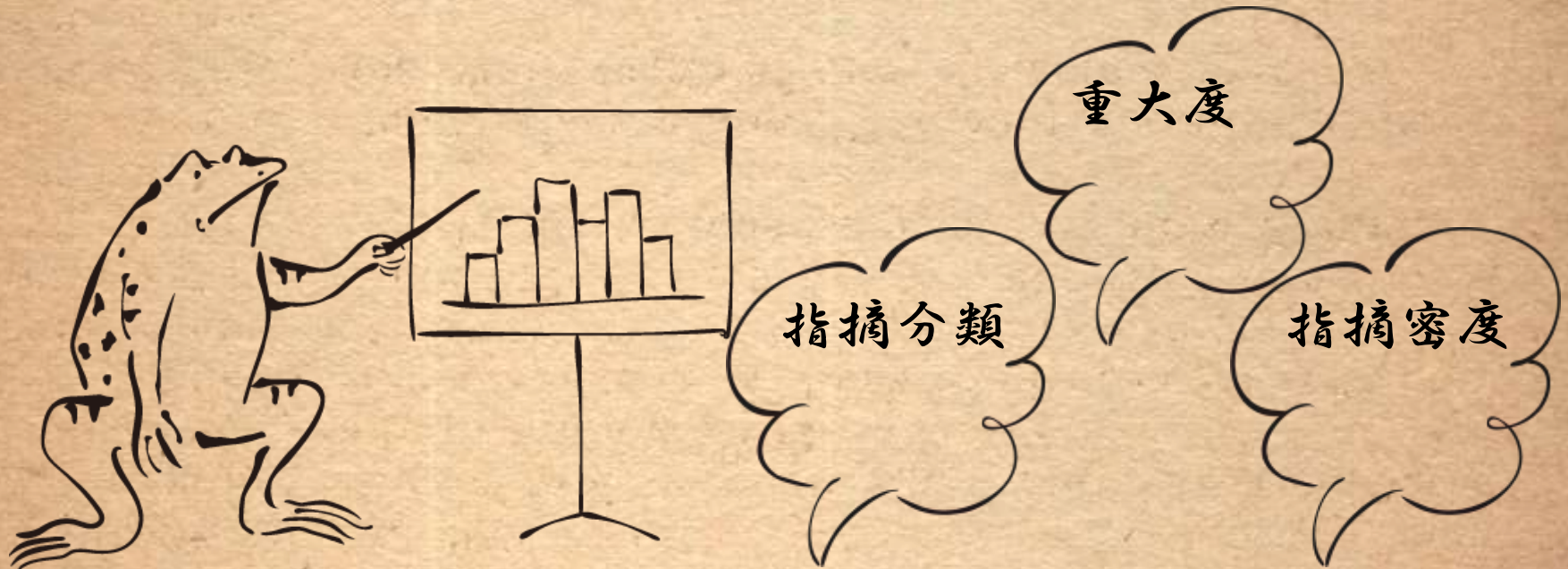
- レビュー記録票
- ジョハリの窓
- NEW* • 役割毎の振り返りフォーマット
- NEW* • 相互の認識突合せ表



レビュー記録票

記憶だけに頼らない振り返り

レビューにおける客観情報（事実）を使用



記憶喪失



成敗



ジョハリの窓

他人の意見を取り入れる

心理学に基づいた自己分析を使用



	自分が 知っている	自分が 知らない
他人が 知っている	①開放の窓 (Open Self)	②盲点の窓 (Blind Self)
他人が 知らない	③秘密の窓 (Hidden Self)	④未知の窓 (Unknown Self)



成敗

自己中心



役割毎の振り返りフォーマット

(TRCCマトリクス : Two Roles Continue and Change matrix)

お互いに褒める&アドバイスする

役割毎に分かれて

自分と相手のContinue&Changeを抽出

自己(want to)	他己(want you to)
続けたいこと(Continue)	続けて欲しいこと(Continue)
〇〇が□□だったので、 ××を続けたい	××の部分が〇〇で良かったの で、続けて欲しい
変えたいこと(Change)	変えて欲しいこと(Change)
〇〇が□□だったので、 ××を変えたい	××の部分が〇〇だったので、 変えて欲しい



ダメ出し

成敗



相互の認識突合せ表

(MRM : Matrix table to Reconciling Mutual recognition)

全員の意見をすり合わせる

お互いに持ち寄った意見の擦り合わせで
認識のギャップを減らす

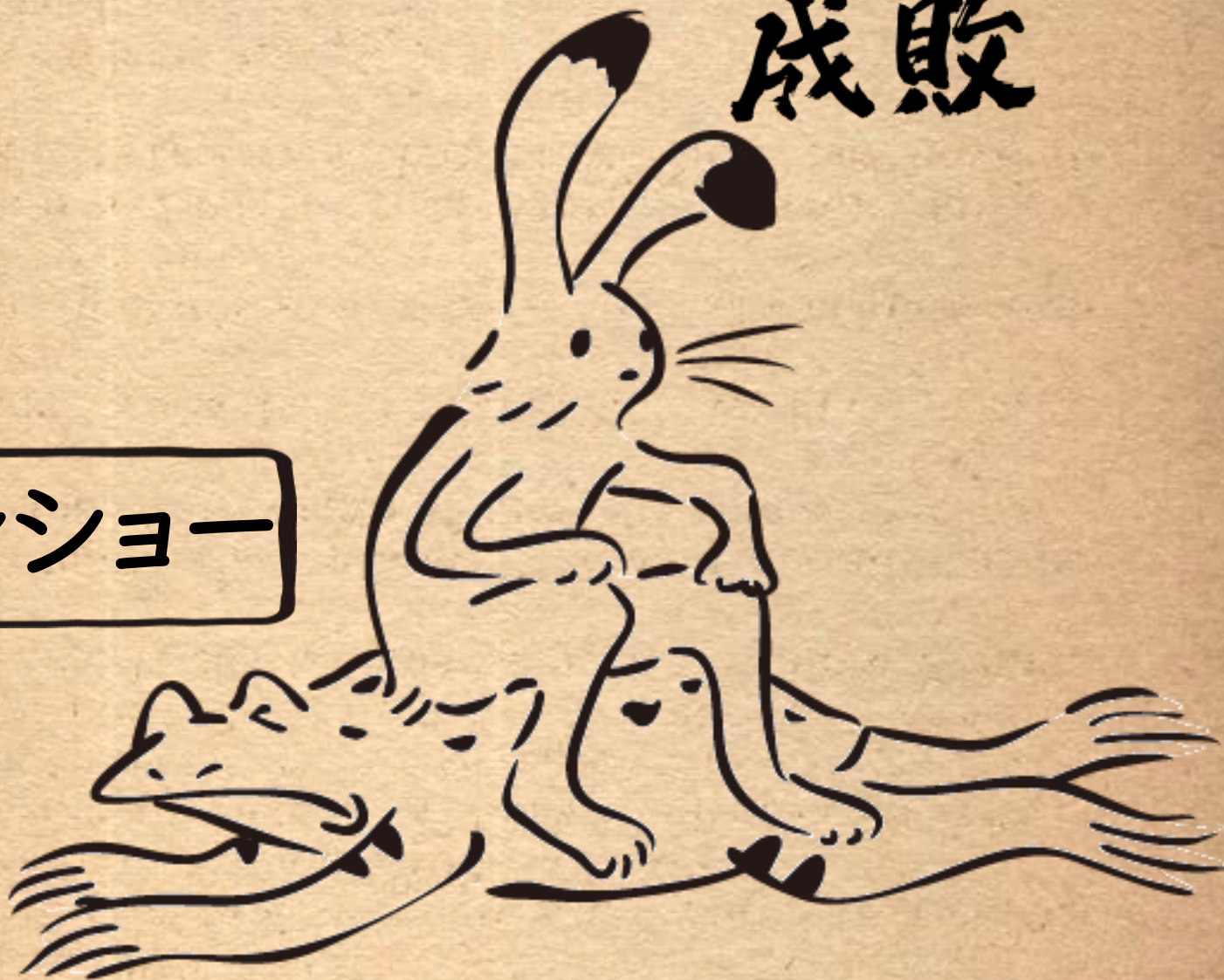
作成者
TRCC

レビューア
TRCC

		自分		
		Continue	Change	None
他人	Continue	開放の窓(一致)	開放の窓(相違)	盲点の窓
	Change	開放の窓(相違)	開放の窓(一致)	盲点の窓
	None	秘密の窓	秘密の窓	閉ざされた窓

成敗

ワンマンショー



R3法の実施手順

- ①レビュー振り返りの目的と観点の設定
- ②役割毎の振り返り
- ③振り返り結果のマージ
- ④施策の検討／決定



R3法の実施風景



作成者



レビューア



自己	他己
Continue	Continue
Change	Change

自己	他己
Continue	Continue
Change	Change

		自分(作成者)		
		Continue	Change	None
相手 (レビューア)	Continue			
	Change			
	None			

		自分(レビューア)		
		Continue	Change	None
相手 (作成者)	Continue			
	Change			
	None			

実験結果（件数）

1つのプロジェクトにR3法を適用

作成者

振り返り

	自己	他己
Continue	0	2
Change	2	1

突合せ表

		自分（作成者）		
		Continue	Change	None
相手	Continue			1
	Change		2	
	None			

レビューア

振り返り

	自己	他己
Continue	1	1
Change	3	2

突合せ表

		自分（レビューア）		
		Continue	Change	None
相手	Continue	1		
	Change		1	1
	None		1	

相互に意見の一致と気づきが抽出された

実験結果（具体例）

指摘への回答
がわかりやすく
て最高だよ!!

軽微な指摘が
多いときは
言ってください

OK!!
その時はレク
チャーするよ



改善に繋がる施策が抽出された

まとめ

参加者全員が

現状を最適化するために

事実に基づき

お互いの成長ポイントを抽出し

共有することで

前向きな改善を促せる

ポジティブな振り返り

R3法とは



お互いの

せいちよ**兔**のため

ふり**蛙**



完